

12 月 30 日：VN 指数は反落 (VN-Index -0.24%)

- 年内の取引も残すところあとわずかとなり、本日の VN 指数は様子見ムードで開始した。先週金曜日の米国市場が軟調だったことも要因と考えられる。
- 直近で上昇を続けていた銀行、素材セクターは利益確定売りと思われる動きが流入して指数を急激に引き下げた。
- 新規資金の流れは依然として穏やかであり、市場の停滞ムードを打破するだけのカタリストは見つからずに 1 日を通して下落圏で推移した。
- 大型株への急激な買い方の動きによる反発が引け間際に下落幅を狭めた。
- 122 銘柄が上昇、299 銘柄が下落、72 銘柄が変わらずとなった。
- 流動性は大幅下落。31.0%減の 11.6 兆ドンとなった。

VN30 指数は引けに反発 (VN-30 +0.04%)

- 大型株で構成される VN30 指数は、6 銘柄が上昇、20 銘柄が下落、4 銘柄が変動なしであった。
- 上昇銘柄数は少なかったものの、HDB (+6.81%)、POW (+1.25%)、STB (+1.20%)は大きく上昇し、指数を押し上げた。
- 一方、BID (-2.30%)、SSB (-1.18%)、VIB (-1.50%)、VJC (-1.09%)などが本日の主要な下落銘柄であった。

セクター・個別株の動き

- 食料品店チェーンである子会社の Bach Hoa Xanh にて、もやしが基準外の薬物にさらされたまま販売されていることが発覚し、MWG (-0.65%)は下落した。
- VGC(+1.01%)は、2025 年の計画を売上高 14.4 兆ドン（前年比 8%増）、税引前利益 1.74 兆ドン（前年比 57%増）と楽観的に設定した。
- 外国人投資家は 3,570 億ドンを買い越した。主に STB (+1.20%) and CTG (+0.26%)に集中した。一方、外国人による売りは分散し、売り越しで目立った銘柄は無かった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd. (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。